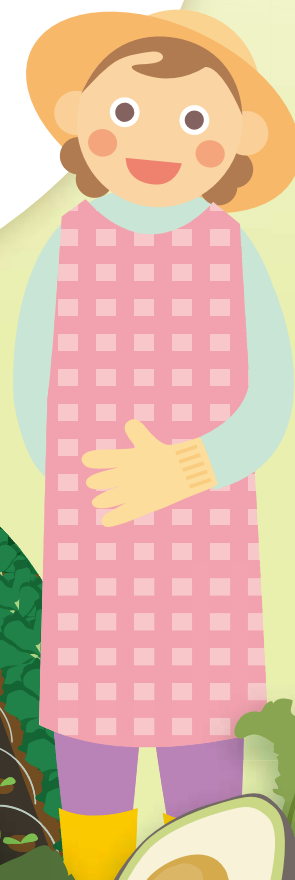


品目別 取組事例

各品目・地域における農福連携の取組事例、特に、「作業の切り出し」や「作業の工夫」など、障害のある人が作業をする際のポイントを具体的な作業毎に紹介しています。同じ品目で、これから農福連携に取り組む方が作業をお願いする際、又はすでに取り組んでいる方が作業の改善を図る際などに活用してください。



① ほうれんそう

- 【主な仕事内容】 ○播種準備 ○収穫
○出荷調整

内 勝史

住所：鹿児島市川上町

農業経営体の概要

(こだわり・理念) お互いの利益 (Win-Win) の関係づくりを目指して

- ・ 経営面積 約100a
施設：ほうれんそう, トマト, ナス等
露地：たまねぎ, 根深ねぎ, にがうり等
- ・ 労働力
家族労力3名
障害者：就労継続支援B型利用者 (精神障害者)
支援員を含めて4～8名 (週3回×2時間)
- ・ 施設・機械
ハウス(KP,KPH,中期展張) 5,700㎡, トラクター,
管理機, 耕運機, 軽トラック, 軽バン, 予冷庫
- ・ 販売先
生協コープかごしま



農福連携を始めたきっかけ

- ・ 数年前に物産館を運営する福祉事業所の方々と話をする中で連携ができればとの話があった。
- ・ 令和3年4月～12月の週2回, お試しで障害者3～4名を受け入れ。
- ・ お互いが利益を実感し, 連携協定を締結。令和4年度から正式に作業依頼。

障害のある人が担う主な仕事内容

- ・ ほ場準備：施肥, ビニール張り等
- ・ 収穫：収穫, 運搬, 調整作業
- ・ 出荷調整：計量・袋詰め (今後予定)

農福連携に取り組んで良かったこと

- ・ 障害者の働きやすい環境の整備, 作業の段取りを考えるようになった。
- ・ 両親が高齢化する中, 労働力不足の解消, 労働作業の軽減に繋がった。
- ・ ハウスのビニール張り, 作付け準備, 収穫調整作業等は障害者と一緒に作業し, 一斉に進めることができ, 作業能率が向上した。
- ・ 福祉事業所, 障害者にも喜んでもらっている。



【障害のある人が作業する際のポイント】

ほうれんそうの播種準備・収穫 出荷調整等

(作業内容：播種準備、収穫、選別・調整、運搬)



1 播種準備作業



堆肥の運搬・散布作業。ハウスの入り口からハウス内へ一輪車で運搬・散布の作業。障害者と施設支援員が組作業で実施。

【ポイント】

作業前に実演し、注意点を説明。体力に自信のある人や、動くことが好きな人に依頼。運搬後、支援員の指示により、均一に散布してもらう。

2 収穫作業



収穫作業。障害者と施設支援員が組作業で実施。

【ポイント】

作業前に注意点を説明、実演。生育不良株を残し、地際からハサミで切り取り収穫する。

3 選別・調整作業



障害者と施設支援員又は経営主が組作業で実施。収穫後の切口を調整し、枯葉・汚れた下葉を取るなどの調整作業。

【ポイント】

作業前に実演し、注意点を説明。運搬、移動時間にロスがないようにハウス入口に簡易作業場を設置（寒い日はハウス内、暑い日は外で木陰等の環境考慮）

4 運搬作業



収穫・調整したほうれんそうの運搬作業。台車又は一輪車等を利用して調整作業場や軽トラックまで運搬。

【ポイント】

作業前に実演。運搬作業、動くことが好きな人に依頼し、丁寧に運んでもらう。

【その他にこんな工夫もしています】

- ・ 袋詰め作業は、丁寧さが必要であるため、現在は経営主が行っているが、今後は、作業に慣れた障害者の方々へ依頼する予定。
- ・ その他、作業人数に応じた作業準備と障害者の特性に応じた作業分担を考慮して行っています。

② 輪ギク

【主な仕事内容】 ○苗調整作業

合同会社 オープネス

住所：枕崎市仁田浦町 128



農業経営体の概要

(こだわり・理念) 異なるヒトやモノ、文化を積極的に受け入れ、「協働」「創造」していくことを目指しています。

- ・経営面積（栽培品目・作付面積）
輪ギク（苗調整作業の受託）
露地野菜（ブロッコリー1ha、オクラ10a、バジル5a）
- ・従業員
正社員4人
障害者：就労継続支援B型利用者17名
- ・施設・機械
ビニールハウス、トラクター、管理機
- ・販売先
J A、委託契約販売、直売所、インターネット販売、イベント出店



農福連携を始めたきっかけ

作業療法士として病院に勤務していたが、「障害のある方に、仕事の提供ができる組織を立ち上げたい。」との思いが強くなり、合同会社オープンネスを立ち上げ、農業経営を中心とした障害福祉サービスを開始。

障害のある人が担う主な仕事内容

- 輪ギク（受託）
 - ・穂調整作業
- 露地野菜（ブロッコリー）
 - ・播種、収穫、出荷調整
- 露地野菜（オクラ）
 - ・出荷調整

農福連携に取り組んで良かったこと

- ・ 県最大の輪ギク産地である枕崎市に根ざし、労力不足に悩む輪ギク生産者のニーズとマッチングさせ、地域貢献することができた。
- ・ 障害の程度と作業内容に応じた作業体系のしくみを創り、誰もが働きやすい環境を整えることができた。



【障害のある人が作業する際のポイント】 輪ギク苗調整作業

(作業内容：右写真のマニュアルに従い下記の作業を行います)



1 苗を作業台にのせる



輪ギク農家から預かった苗箱から、苗を拾い上げて皿にのせる分だけのせる。

【ポイント】

数が多すぎたり少なすぎたりがないように、皿にのせる分だけを取ってもらう。

2 下葉を取る



皿から苗を1本取り、余分な下葉をむしり取る。

【ポイント】

均一な苗とするために、原寸大の写真パネルを手元に置き、視覚化している。

3 10本ずつ数える



苗を10本ずつ数える。

【ポイント】

数えミスがないように、10マス表示した白台紙の上に苗を並べ置く。

4 10本1束にまとめる



苗10本を一束にして、苗箱に並べる。

【ポイント】

間隔を空けて、隣の束同士が混在しないように並べる。

【その他にこんな工夫もしています】

- ・ 障害の程度に応じた作業動線、資材の配置、腰への負担が少ないイスの整備などを行っています。
- ・ ブロッコリー等重量野菜の出荷調整作業も行っていますが、輪ギク苗調整作業は以下のメリットがあります。

- ①座っての作業なので体への負担が少ない。
- ②室内作業なので雨天でもできる。
- ③道具不要の手作業なのでケガが無い。 など

③ そらまめ

- 【主な仕事内容】 ○播種 ○誘引作業
○わき芽かき ○後片付け

有限会社南九州農産
住所：指宿市開聞十町 1330-1

農業経営体の概要

(こだわり・理念) 咲かせます！元気の花と笑顔の花。

心の中にハイビスカスを

- ・ 経営面積 (栽培品目・作付面積)
施設野菜 (オクラ20a)
露地野菜 (そらまめ1.2ha, オクラ1.2ha, スナップえんどう1ha)
- ・ 従業員
臨時パート2人
就労継続支援B型利用者 (知的障害者・精神障害者) 10名が従事 (2時間20分/日)
- ・ 施設・機械
農業用倉庫, トラクター, 防除機
- ・ 販売先
卸売市場



農福連携を始めたきっかけ

- ・ 農業法人と併せて社会福祉法人も運営し、18年前から就労継続支援の事業を行っている。指宿という恵まれた土地を活かしたオクラやそらまめなど、農作物を栽培し障害者が土に触れて作物の成長、収穫の喜びを体験することで、心の安定が図られ、障害者の就労確保につながると考えた。

障害のある人が担う主な仕事内容

- ・ 栽培管理：播種，誘引，わき芽かき，除草
- ・ ほ場後片付け：収穫後作物や支柱片付け，マルチ除去

農福連携に取り組んで良かったこと

- ・ 農業法人は労働力が確保でき、障害者にとっては楽しく働ける場ができ、お互いによい環境が整備できた。
- ・ 障害者は、植物を育てる事により精神面の安定が図られ収入を得る事ができ、他産業に活用できる資格にチャレンジできその後の就労につながっている。



【障害のある人が作業する際のポイント】 そらまめの栽培管理

(作業内容：播種、誘引、わき芽かき、後片付け)



1 播種



播種は芽を上向きにして、一つ一つ手で種子を植え付ける作業。

【ポイント】

作業前にわかりやすく基準を決めて、実演し注意点を説明。

作業を見ながら、個別に指導する。

2 誘引作業



側枝が伸びたら、誘引ひもで枝を挟む作業。

【ポイント】

ひもを結ぶ所がわかりやすいように適切な場所に目印をする。

病気の株があった場合には、さわらないように指導・注意する。

3 わき芽かき



はさみを使って、わき芽かきを行う。

【ポイント】

細かい作業が好きな人に依頼するなど能力に応じて、適した作業を分担する。

4 後片付け



栽培が終了した後に作物、支柱やマルチなど資材を片付ける。

【ポイント】

作業の早さはそれぞれ自分のペースに合わせて続けてもらう。

【その他にこんな工夫もしています】

- ・ 作業は午前中1時間10分、午後1時間10分の合計2時間20分。施設から畑まではバスで送迎している。
- ・ 施設の農作業担当職員が障害者に付き添って作業を行う。
- ・ 主な管理作業は経営主と従業員で行い、障害者には仕事しやすい作業をお願いする。